

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第1学年
使用教科書		現代の国語(東京書籍)			
使用副教材等		TOP2500(いいずな書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読者に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木を見る、森を見る</li> <li>・技術が道徳を代行するとき</li> <li>・水の東西</li> <li>・「身銭」を切るコミュニケーション</li> <li>・言葉は世界を切り分ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。</li> <li>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告の形而上学</li> <li>・時間と自由の関係について</li> <li>・映像文化の変貌</li> <li>・真の自立とは</li> <li>・自立と市場</li> <li>・共鳴し引き出される力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。</li> <li>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の多様性とは何か</li> <li>・人工知能はなぜ椅子に座れないのか</li> <li>・学ぶことと人間の知恵</li> <li>・暇と退屈の倫理学</li> <li>・時代のデモクラシー</li> <li>・鳥の眼と虫の眼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。</li> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。</li> <li>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。</li> <li>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</li> <li>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3単位
学科・類型		普通科Ⅱ類		学年	第1学年
使用教科書		『精選言語文化』東京書籍			
使用副教材等		『精選言語文化学習課題ノート』東京書籍			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	古典文法入門 用言の活用 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。</li> <li>・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。</li> <li>・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> </ul>
2 学 期	助動詞・助詞 「芥川」 「筒井筒」 漢文入門 訓読の基本 故事成語 漢詩 「春暁」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の訓読に慣れるとともに、現在の言葉が漢文に由来することを知る。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>・訓読のきまりを理解する。</li> <li>・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul>
3 学 期	「羅生門」 「富岳百景」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・読書の意義と効用を理解する。</li> <li>・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	3単位
学科・類型		普通科I類		学年	第1学年
使用教科書		現代の国語(大修館書店)			
使用副教材等		現代の国語 学習ノート(大修館書店)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<p>「水の東西」 山崎正和 「動への変化」 落合陽一 「動的平衡としての生物多様性」 福岡伸一 「自然と人間の関係をとおして考える」 内山節</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈できるようにする。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫できるようにする。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> </ul>
2 学 期	<p>「安くておいしい国の限界」 小熊英二 「インターネット時代の音楽産業」 吉見俊哉 「美しさの発見について」 高階秀爾 「空気を読む」 香山リカ 「贅沢を取り戻す」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈できるようにする。</li> <li>・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。</li> <li>・表記・表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。</li> <li>・意見文の書き方を理解し、自分の経験の中から意見を導き出せるようにする。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> </ul>
3 学 期	<p>「白」 原研哉 「作業ロボットの悲劇」 松田雄馬</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈できるようにする。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫できるようにする。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・例示などの修辞を理解する。</li> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> </ul>

令和7年度 学習指導計画

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位
学科・類型		普通科I類		学年	第1学年
使用教科書		精選言語文化(東京書籍)			
使用副教材等		東京書籍『精選言語文化 学習課題ノート』			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	古典 歴史的仮名使い 用語の活用・動詞 「稚児のそら寝」 「絵仏師良秀」 徒然草 「つれづれなるままに」 伊勢物語 「茶山」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。</li> <li>・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。</li> <li>・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> </ul>
2 学 期	漢文訓読 故事成語 漢詩 形容詞・形容動詞・助動詞 竹取物語 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の訓読に慣れるとともに、現在の言葉が漢文に由来することを知る。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>・訓読のきまりを理解する。</li> <li>・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</li> <li>・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul>
3 学 期	小説 「羅生門」 「鏡」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。</li> <li>・常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>・読書の意義と効用を理解する。</li> <li>・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> </ul>

